

＜野外活動上の注意事項＞

袋井市教育委員会
生涯学習課

近年、熱中症や水難事故など、野外活動中に事故が増えている現状から、野外活動時の安全対策は必要不可欠です。楽しい野外活動も、安全上の注意を怠ると悲しい事故につながる危険が高まります。事故が起きると、被害者がつらい思いをするばかりでなく、主催者（指導者）側への責任問題へと発展することも考えられます。安全管理に対する正しい理解と対策で、事故を未然に防ぎ、楽しい活動をしましょう。



◆事前確認◆

- ・想定できる危険を予知し、その対策を徹底的に行いましょう。
- ・参加者には「自分の身は自分で守る」ことを徹底させ、「自己責任」の考え方で様々な活動に臨みましょう。
- ・万が一の時を想定して対策を練っておくとともに、指導者は引率者に対する教育を徹底しましょう。
- ・参加者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容などをきちんと伝えたと上で参加してもらいましょう。
- ・熱中症対策として、必ず帽子をかぶり、こまめな水分・塩分補給、休憩を行い、水分補給は個人に任せるだけでなく、指導者が時間を決めて定期的に全員一斉に補給しましょう。
- ・水辺での活動では、現地の情報等調査のうえ、十分な安全対策を講じるとともに、身を守ってくれるライフジャケットを着用するようにしましょう。

様々な場所に危険がいっぱい！



- ・動植物が原因（毒ヘビ、ハチ、ムカデ、マダニなど）
- ・気象条件（天候の急変、落雷、強風、台風など）
- ・地形的条件（転落、落石、急斜面、岩場など）
- ・水的条件（水温、水深、水流など）
- ・活動技術（道に迷う、転ぶ、落ちる、溺れるなど）
- ・疲労や心理的要因（判断ミス、パニック、過度の興奮など）
- ・心身の健康状態と衛生管理（発熱、熱中症、便秘、下痢、食中毒など）
- ・指導者側の過失（無理な計画、下見の未実施、引率者相互の共通理解付属）
- ・その他（移動の際の交通手段）



◆事前にチェック して備えましょう◆

綿密な計画案及び安全上のチェック

下見の実施

◎時期

計画作成段階で最低 1 回は実施し、できれば直前に再度実施することをお勧めします。

◎下見を行う引率者

引率者全員が揃って行うことが理想的です。できない場合は、動画や写真などで後日確認しましょう。

◎下見のポイント

- ・コース及びエリアの確認
- ・コース上想定される危険と対処方法
- ・引率者の配置
- ・車両輸送路の確認
- ・救急医療機関の確認



計画の再点検

参加者及び保護者への事前説明会の実施

保護者が事前説明会へ参加できない場合は、文書での説明もしくは改めて説明する機会を設けましょう。

傷害保険への加入

救急医療品の準備

緊急体制の整備とその運用及び救急処置についての確認

引率者全員での安全管理上の最終確認



◆実施中の安全管理◆

気象条件の把握（現状把握、予報、過去 1 週間の天候、土砂崩れや落石の予知）

危険箇所の現状確認

移動の際の安全管理

参加者の点呼と健康状態の把握

心身両面で配慮が必要な人の把握

引率者の配置と円滑な連絡手段

自身の安全管理と健康管理

万が一のときを想定して冷静に判断できる体制



◆万が一のときの対応◆

・冷静に判断する

・無理をせず自分自身の安全管理を忘れない

・事故者以外の人たちの安全管理をする

・周囲の状況や事故者の様子を把握し、直ちに何をすべきか判断し行動に移す

・必要に応じて警察や消防へ連絡する